

授業案⑩ 立憲主義と民主主義の関係について知る

(偉い人に任せて決めてもらっていいのか？多数決で全部決めてもいいのか？)

1 対象

小学生

2 獲得目標

立憲主義についての根底の理論を理解するとともに、民主主義が採用された場合に、民主主義に潜在する問題点について気付いてもらい、その解決方法についても検討することで、立憲主義と民主主義の関係やその重要性について根本的な理解を深め、これが現在の政治に反映されていることを理解し、政治への理解をより深めていく。

3 指導要領との関係・本授業案の意義

小学校学習指導要領第2章第2節「社会」第2〔第6学年〕1「目標」(2)では、「社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う」とされており、同2「内容」ア(ア)では、「現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解する」こととしている。

このことから、日本国憲法の基礎にある近代立憲主義がどのような理念のもとから生じているのかを理解してもらい、これに続いて、民主主義、特に多数決による集団の意思決定という点について、個人の尊重という観点から考える機会を持ってもらう。

その際には、特に小学生という点にも配慮し、身近な題材を選び、政治を考える際にも参考になるような授業とすることで、政治に対する興味を持ち、自主的に学習していけるきっかけとなるようにする。

弁護士が本授業を担当する意義としては、歴史や理論、知識として暗記するというレベルにとどまることが多い立憲主義や民主主義というものについて、小学生の実生活の中でも実感できるようなものであることを理解してもらうため、これに精通する弁護士が担当する意義がある。加えて、小学生の自由な発想に対して柔軟な対応をしながら議論を導く必要があるため、この点についても、弁護士が授業を担当する意義が大きい。

4 授業の流れ

段階 時間	○教師の主な発問・指示 ◎学習内容	児童の反応 指導のポイント
導入 5分	○自己紹介、弁護士の仕事紹介 自己紹介の際に好きな食べ物などを話しておく	展開1で児童に好きなものを聞くため、発言しやすい雰囲気を作る
展開1 10分	○好きな料理について質問 児童に好きな料理を答えてもらう。 ◎第1の問題設定について説明 学校のお楽しみ会で料理を作る際に、校長先生が質問で出てこなかった料理を作ることに決めた場合 児童の好きなものを作れないことは良いのか？ 校長が料理を選んだ理由は？ ◎立憲主義についての平板な説明 偉い人が独断で決めることが児童の幸せにつながるのか？ ◎一人に全体の意思決定を任せることの危険性の説明 校長を選んだ理由が正当だったとしても、児童が従わなければならない訳ではない	・給食なども参考にする 出前授業の場所の名物など ・絶対主義の平板な理解 偉い人が全てを無制限に決めて、これに従わせる考え方。独裁 ・独断で決めることの問題点 みんなのためになっているのか？ ・立憲民主主義のわかりやすい説明 偉い人の決定権を縛り、児童たちが自分たちの行うことを決める 校長が暴走する場合の例示 サバの味噌煮やゴーヤチャンプル 正当な理由があったとしても、まずは児童が決めるべきことを説明
展開2 15分	○どうやって料理を決めることが良いのか質問 全員一致で決めることができるか？ 決められない場合にはどうするのか？ ○多数決で決めることの問題点を質問 多数決は全体の意見を反映しているのか？ クラスの人数に合わせて比率を変える。 ○アレルギーで食べることができない人がいた場合 かわいそうではなく、尊重すべきという考え方	・全員一致や多数決など ・くじやルーレットなどの運に任せるものは除外する ・多数決が原則として公平な決め方であることを説明（集団の最大多数の幸福が集団の幸福につながる） ・99対1の場合に1の人達は我慢しなければならないのか？
展開3 10分	○アレルギーの場合を例示として、少数者の犠牲や我慢はやむを得ないのかを説明 ○その他の例示として、宗教上の理由で豚肉を食べることができない場合なども説明 ○多数決では解決できないこと、尊重しなければならないことがあるのではないか？という疑問を説明 ○アレルギーがある児童を各児童が全て把握できるのか？ 誰なら把握できるのか？	・全体の利益からスタートするのでは無く、個人の尊重からスタートすべき ・担任の先生か？校長か？

	<p>○校長が把握しているなら、校長に意見を調整してもらうのはどうか？</p> <p>① アレルギーのある児童は別の料理を作る</p> <p>② アレルギーのある料理は候補から外す</p> <p>○民主主義（多数決）の欠点の説明</p> <p>民主主義においては、少数派の意見が制限、無視されやすく、少数派が軽視されやすいため、これを解決するために権力者を利用するという構造の提示</p>	<p>・立憲民主主義からスタートする権力者の立場や使い方を提示する</p> <p>・権力者による意見調整と解決案の提示</p> <p>民主主義と立憲主義の関係をまとめる</p> <p>偉い人の独断は許さないが、みんなでやりたいことを決めるために、偉い人の持っている情報などをうまく使う</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○授業のまとめと質問コーナー</p>	

ワークシート

多数決で作る料理を決める場合

多数が賛成すれば少数は我慢しなければならないのか？

多数ってなにか？

多数決は全員にとって公平な決め方なのか？

多数決で問題になる場合を考えてみて下さい。